



閉会式後、選手、応援団とパチリ。優勝旗は利用者さんたちにも見せてもらっています。



KIRAMEKI きらめき

平成24年2月発行
社会福祉法人 佐世保白寿会
介護老人保健施設
さざ・煌きの里
長崎県北松浦郡佐々町八口免805-2
TEL 0956-41-1122
お問い合わせ・ご相談・見学、お気軽にどうぞ
<http://www.kiramekisoato.com/>

Vol. 95
リニューアルホームページようこそ!

紙面の写真・氏名についてはご本人の同意を得て掲載しています。



19チーム、一斉にスタート!

ラストスパート!



2区 澤池親子、最後のタスキリレー



女性ランナーはキラメキだけ



4区 競歩インターハイ出場、県記録保持者の坂本



区間賞でゴールテープを切った松永

5区

初優勝! EKIDEN

林増一郎監督、就任1年目の快挙
第41回 佐々町内駅伝大会
1区、堤が我が子と同年の選手にラストスパートで競り勝ち区間賞のスタート。2区澤池が大学進学に向けてのラストラン。連続区間賞の走りその後継を引き継ぎ、母の澤池看護師へ親子リレー。3区、夜勤などの激務を縫って練習に打ち込む澤池看護師がその成果を十分に発揮しケアスタッフ新人の坂本へ。4区、坂本は学生時代、陸上から競歩競技へ転向しインターハイ出場に加え、未だ破られていない長崎県記録まで樹立した期待の新人。ブランクを感じさせない走りでもトップを死守。5区アンカーは松永。昨年のオーバーペースによる後半失速を今年はしっかり調整し、前には追う選手がないこともあり自分のペースをしっかりと守って悲願のゴールテープを切った。
大応援団の黄色い声援に背中を押された選手たち。「チームキラメキ」一丸となって手にした優勝と言える。道徳でのご家族、地域の皆様の応援有難うございました。

開設当初から参加している佐々町内駅伝大会。昨年の2位から階段をひとつ駆け上がり初優勝を遂げた。「元氣なキラメキをPR!」を目標に出場を続けてきたチーム。歴代走者を見ればはるばる福岡から参戦した白十字会グループの富永理事長を始め、当時のキラメキの朝長理事(現佐世保市長)、原田事務長(現佐世保中央病院事務長)、耀光リハビリテーション病院長の浅野事務長など、実に濃く多彩な顔ぶれだった。キラメキにとっても歴史を感じ、感慨深い駅伝大会である。

輝は次の走者に
託すもの
コースになびく応援のほりと、寒い中、手作りの旗で熱い声援を送ってくれた応援団。気が抜けない! ひたすら感謝!



決まった! ...かもしれない

龍

平成24年元旦 さざ・煌きの里

いざ、きらめき応援団!

二人羽織でケーキを頂きます。「私、本当は上品なんです・・・」

直径25cmほどの大きなザボンみたいなものが登場。その表情が皆さんを和ませています。

わたしの名前は 晩白柚(ばんべいゆ)です。

皮も美味しく

ミカン科の一種でザボンの仲間だそうです。名前は、晩(晩生)・白(白い果肉)・柚(中国語で丸い柑橘)に由来するとか。中身はそのまま食したり、マーマレードになったり。厚めの皮は砂糖漬けにして余すところなく美味しくいただきました。

笑顔

久原ケアスタッフの柔らかい表情からイメージできない力強い書。思いのこもった大作「笑顔」の完成。

KIRAMEKI 新年会

毎年、年末に一年を表す漢字が書かれて発表されます。東北大地震があった昨年キラメキでは新年会で今年の漢字が書き出されました。今年は「笑顔」書いてくれるのはキラメキの書家、久原ケアスタッフの皆さんに任せ文字を選ぶのは本人に任せたいですが今回もキラメキにふさわしい素敵な言葉を選んでくれました。

この新年会ではスタッフによる二人羽織で笑顔を誇った後は男子職員による応援団でヒシッとした、カッコよく(?)締めました。今年もこの書のように笑顔の多い一年になるよう職員一同頑張ります。

認知症対応型 デイサービス

ドリームケア吉井

開設記念講演会

開催 決定

認知症の予防と改善

石橋 経久(つひひさ) 先生
介護老人保健施設サン施設長・医学博士

豊富な情報とデータを持ち合わせ、エビデンス(根拠)に基づいた講演には定評がある。ユーモラスな話術で会場を沸かせ、心に残る講演を全国各地で開催。星をこよなく愛するロマンチストでもある。

会場 ソレイユ吉井
佐々町吉井線 国道そば

午後1時~

お問い合わせ さざ・煌きの里 41-1122

白十字会グループ10ヶ所目となる小規模デイサービス。そのノウハウをここに結集!

24年4月開設

(3月末内覧会予定)

陽当たり良好!

アットホームデイサービス ドリームケア吉井

吉井町 橋川内

- ◆365日対応。
- ◆1日12名までの少人数。
- ◆自宅までの送迎、昼食、入浴など。
- ◆季節ごとの行事や外出、頭のリハビリ「学習療法」で脳のサビ落とし。
- ◆看護師、介護福祉士など資格を持った経験豊かなスタッフが対応。
- ◆笑顔溢れる陽だまりのような居場所、地域の皆さんとの触れ合いを大切にします。

工事も順調。2月末完成予定。